

# 箕面老健通信



令和5年1月発行

新年特別号

## 箕面市立介護老人保健施設の理念

### 1、人権尊重

自己決定権を尊重し、安全を確保して医療・看護・介護・リハビリテーションサービスを包括的に提供します。

### 2、在宅復帰・在宅支援

住み慣れた地域で生活できるように家庭復帰と在宅生活の支援を行います。

### 3、地域福祉の推進と福祉文化の創造

福祉がいつでも、どこでも、誰でも権利として享受できるように支援します。

箕面市立介護老人保健施設

指定管理者  箕面市社会福祉協議会

〒562-0014 大阪府箕面市萱野5丁目8番2号

TEL 072-727-9530

FAX 072-727-3598



## ～新年の御挨拶～

新年あけましておめでとうございます。

施設管理者 田中 千足



今年が皆様にとっていい年になることを祈ります。そして私も「今年は今までにない良い年に見せろ」と意気込んでいます。新しい年を迎えるっていいですね、真白なキャンバスに好きなように素敵な絵を描けるようなそんな感覚を持てるからでしょうか。

そんな未来志向の新年の御挨拶のはずなのに、どういう訳か私は、昔も昔、70年前の我が家のお正月の話を見せていただくと思います。そう、歳をとると昔のことがよく思い出されてしまうものなのです。それに免じて私の昔話にお付き合いください。

ちょうど70年前、昭和28年の新年を6歳の私は京都に引っ越してきた初めてのお正月として迎えました。私は鳥取市の外れにある漁港、賀露というところで終戦の翌年に生まれ育ちました。

大阪の池田師範（現大阪教育大学）、寝屋川高女（現寝屋川高校）で教職についていた父は病を得て退職していましたが、暇だろうということで在郷軍人会の会長という平和主義者の父にはとても似つかわしくない役についていました。終戦となり、病も癒え、さあ教職の道にもどろうと思った矢先、GHQによる公職追放令でその道は閉ざされ、京都の出版社のお手伝いをするようになりました。母及び姉、兄と生まれてきた私は賀露で生活し、父は京都に単身赴任という形でした。

昭和27年父は出版社を引き継ぎ、新たな出版社を京都市郊外向日町に構えることにし、住居兼用でしたので鳥取にいた私たち4人を呼び寄せてくれて、初めて家族そろって生活することが始まるのです。

5月20日の夜、最寄りの湖山駅から旅立ちます。近所の人や知り合いの人が大勢見送りに来ていて、その人たちと挨拶して涙する母を見て、涙の意味も分からず妙に心細くなり、早く汽車に乗ろうよとせがんだように記憶しています。隣の鳥取駅で急行に乗り換えたのだらうと思いますが、5歳の私はすぐぐっすり寝込みました。

両親や姉兄の出す歓声で目を覚まし、みんなの示す方に目をやるとはるか下に今まで見たことも

## ～新職員紹介～

- 理学療法士 2名
- 運転手 1名
- ケアアシスタント 5名

が新しく仲間となりました。よろしくお願いいたします。



### —編集後記—

コロナも収まらないまま新年を迎えてしまいました。とはいえ、新しい年はめでたいものです。

新しい目標やチャレンジしたいことなど、皆様意気込んでおられるのではないのでしょうか。

感染予防を図りながら、まずは健康第一を念頭に皆様にとって良い一年となりますように。

広報委員会：尾崎・吉田・平野・石原・廣井・宮本（文責：施設ケアマネジャー 吉田秀幸）



ない溪谷美が広がっていました。溪谷などという概念は全く知らないのですが、

鳥取の家の前を流れる小さな川しか知らない子供の私にとって衝撃の光景でした。ああこれが京都に来たということなのだ心に焼き付きました。

ほどなく汽車は二条駅につき、そこで降ります。市電に乗るのです。生まれて初めて電車というものを見、そして乗るのです。四条大宮で市電を降り、新京阪（今の阪急電車）の京都駅（今の四条大宮駅）で初めて本格的電車に乗り込みます。この駅が地下駅なのですね、これも初体験でびっくりします。5つ目の西向日町駅で降り、電車の全貌を見ることができのですが大感動です。

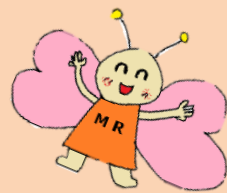
こうやって昭和27年5月21日より田中家の新しい生活が始まりました。小学6年の姉、小学3年の兄はそれぞれ新しい小学校に転校しましたが、私一人幼稚園にも行かずずっと家で過ごしました。昭和28年のお正月が京都で初めてのお正月ということになります。

母は張り切っておせち料理を作ったようです。大阪育ちの母ですが、京風におせちを作りました。お雑煮も京風でした。甘ったるい白みそ仕立てで、なかには巨大な頭芋が入っていました。白みそのお汁は今まで経験したことのない味だし、何より頭芋は自分の頭ぐらいあるのじゃないかと思うくらいで、いくら箸でつついても減りません。大好きなお赤飯の方を食べたいのに、「縁起物だから頭芋を全部食べてからでないとお赤飯を食べてはいけません」と母の厳命が下ります。

もっちゃくするとはまさにこのことだろうともいますが、何とか食べきってお赤飯にたどり着けたと思います。

今思えば父にも母にも、公職追放により強いられた苦しい時代から抜け出す京都での新生活で、初めて迎える新年を京都らしく祝うことが、とりもなおさずその新生活に勝利をもたらすという思いがあったのでしょう。

悪戦苦闘した頭芋入りお雑煮にも父や母の強い決意を見ることができるのだと、70年経って息子は思い出すのです。



新年あけましておめでとうございます。



事務長 尾崎 雅通



コロナ禍となって3年となります。この間、行事やレクリエーション活動などに様々な制限があり、自由な面会も行えず、皆さまには大変窮屈でご不便をおかけしております。ただこの春にも、コロナの分類が2類相当から季節性インフルエンザと同じ5類に緩和する検討がされているとのことですので期待したいと思います。

昨年は、サッカーワールドカップが盛り上がりました。今年はラグビーのワールドカップが、9月からフランスで開催されます。4年前の前回は日本で開催され、「ジャッカル」や「笑わない男」など日本が大活躍しました。（コロナの直前でした）。今回も日本の活躍で日本中を沸かせることを期待しています。今年一年がたくさん明るい話題が飛び交うことともに、皆さまにとって幸多き年になることを祈念いたします。



新年あけましておめでとうございます。



療養課長 久森 浪子



新型コロナウイルスと共存して4年目となりました。

この間ご利用者、ご家族には面会制限が強いられ寂しさや不安な気持ちがいっぱいではなかったかと察します。また、箕面市老健の運営に日頃からご支援・ご協力を頂きましてありがとうございます。本年度もどうかよろしくお願い致します。

この冬は、コロナとインフルエンザの同時流行の可能性を指摘されていますので、施設内の感染対策委員会と職員が一丸となり感染対策を徹底して感染防止に努めて参ります。

with コロナの中でご利用者とご家族がつながりを保ちながら過ごせる取組みを、積極的に取り入れていきたいと考えております。

施設理念の「人権尊重」「在宅復帰・在宅支援」「地域福祉の推進と福祉文化の創造」を、個々が意識し、ご利用者の皆様・ご家族の皆様に質の高いケアを提供していきます。

皆様にとりまして、本年こそより良き年になりますことを心より祈念いたします。



### ～箕面老健文化展～

令和4年11月に「箕面老健 秋の文化展」を開催しました。ご利用者様がレクリエーションやリハビリの一環で作った作品を各フロアに展示し、皆さんに見ていただきました。ご利用者様同士、談笑しながら作品作りに取り組みされる様子やボランティア様、老健スタッフと一緒に作品作りに取り組みされていました。皆様、楽しみながら作品作りを行われていました。



### ～おやつバイキング・鏡餅づくり～

コロナ禍でも皆様に楽しんでいただこうと、行事委員会を中心におやつバイキングやお正月の鏡餅作りを行いました。季節感だけでなく実際に手でこねるなど、炊きたての餅米の香りや質感、温かさなどを感じていただきました。率先して手伝って下さる方もおられ、昔話に花が咲きました。

